

## 青木村と信州大学人文学部との連携協定調印

2007年7月11日、青木村と信州大学人文学部は、相互発展に資するため、資源及び研究成果等の交流を促進し、文化、教育、学術の分野等で連携協力するための協定を締結し、協定書の調印式を青木村役場にて行いました。



青木村との連携協定締結にいたる経緯としては、平成17年度から信州大学教育学部土井進教授主催の「信大 YOU 遊世間」の学生が活動を開始しました。教育学部の学生が「通学合宿」などの村社会教育事業などに参加し、6泊7日の合宿などを実施しました。

また、工学部の学生は週末を中心に村の任意団体と協働し、古民家の移築などを行い、棟梁などの地域のプロや子どもたちとの交流をおこなってきました。

こうした実績をもとに、青木村としては、本学との更なる連携をはかるべく、人文学部卒業生である上原博信氏（教育委員会事務局）の仲介により、平成19年4月12日、小岩井彰教育



長が松本キャンパスを来訪し、人文学部橋本功教授、花崎美紀准教授、中嶋聞多教授との会合の中で、「教科指導法特論Ⅱ」の授業を青木村中学校でおこなうなど、幅広い連携にむけての話し合いが行われました。

青木村村長、人文学部長とも相談のうえ、青木村と人文学部の協定締結にむけて、動き出すことになりました。

6月には村側が議会で説明し、人文学部では6月の教授会で審議し、承認を得て7月11日、青木村で調印式を行うことになりました。

9月12日～14日には、人文学部の学生18名が青木村の中学校を訪れて、教育現場の現状について理解を深める「教科指導法特論Ⅱ」の学校体験授業が行われました。

9月26日には、第1回の青木村と信州大学人文学部との連携協議会が、人文学部にて開催され、「教科指導法特論Ⅱ」の反省、成果、これからの課題などについて、話し合われました。

今後も、教育を中心として、更なる連携をはかっていく予定です。

(地域連携オフィス作成)